

PHENGUARD™ 930

フェンガード 930

説明

2液性 アミンアダクト硬化 フェノールエポキシ樹脂系 ハイビルド (厚膜型) プライマー (下塗り) 塗料

特長

- フェンガードタンクコーティングシステムのプライマー(下塗り)塗料
- 広範囲にわたる有機酸、アルコール、食用油、脂肪(遊離脂肪酸含有量に関わらず)、及び溶剤に対する耐性
- カーゴタンク用として最高の適合性
- 保管物の吸収性が低い
- 熱湯に対する耐性に優れている
- 防食塗料 Lloyd's register (ロイド船級) 認定済み
- 塗装性に優れ、平滑な塗膜面を得られる

色相及び光沢

- オフホワイト
- 低光沢

20°C (68°F) での基礎データ

混合物のデータ	
構成	2液性
密度	1.7 kg/l (14.2 lb/US gal)
固形分 (容量)	66 ± 2%
VOC (供給時)	Directive 2010/75/EU, SED: 最大 191.0 g/kg 最大 315.0 g/l (約 2.6 lb/gal)
推奨膜厚	100 µm (4.0 mils)
理論塗布量	6.6 m ² /l - 100 µm (265 ft ² /US gal - 4.0 mils)
指触乾燥	2 時間
塗装インターバル	最短: 36 時間 最長: 21 日
完全硬化	硬化時間表を参照
貯蔵安定期間	基剤: 12 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合) 硬化剤: 12 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合)

注意点:

- 追加データ参照 - 塗布量及び膜厚
- 追加データ参照 - 塗装インターバル
- 追加データ参照 - 硬化時間

PHENGUARD™ 930

フェンガード 930

推奨素地調整 及び 被塗面温度

被塗面状態

- 鋼板は少なくともISO-Sa2½グレードにてブラスト洗浄すること
- 表面粗度 50 – 100 µm (2.0 – 4.0 mils)
- 鋼板は錆び、スケール、シヨッププライマーなど異物の付着がなく清浄であること
- PHENGUARD 930 の塗装前及び塗装中は被塗面が完全に乾燥していること

被塗面温度及び塗装条件

- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は 10°C (50°F) より高いこと。
- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は少なくとも露点より 3°C (5°F) 以上高いこと。

塗装システム

- PHENGUARD 930 (オフホワイト): 100µm (4.0 mils)
- PHENGUARD 935 (ピンク): 100µm (4.0 mils)
- PHENGUARD 940 (グレー): 100µm (4.0 mils)

使用上の注意

混合比 (容量) : 基剤 : 硬化剤 = 88 : 12

- 15°C (59°F) より高温な塗料が塗装に適しており、適合する塗料温度に満たない場合は粘度調整のため、さらに希釈が必要になる。
- 過剰なシンナーの添加は塗料のタルミ性の低下、乾燥の遅延を引き起こす
- シンナーは基剤と硬化剤の混合・攪拌後に添加すること。

熟成時間

使用前に熟成時間を設けること

熟成時間	
混合塗料温度	熟成時間
15 °C (59°F)	20 分
20 °C (68°F)	15 分
25 °C (77°F)	10 分

可使時間

4 時間 (20°C (68°F))

PHENGUARD™ 930

フェンガード 930

エアスプレー塗装

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

0 - 10%、(規定膜厚や塗装条件による)

チップサイズ

2.0 mm (約 0.079 in)

2次圧

0.3 MPa (約 3 Bar; 44 p.s.i.)

エアレススプレー塗装

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

0 - 10%、(規定膜厚や塗装条件による)

チップサイズ

約 0.46 - 0.53 mm (0.018 - 0.021 in)

2次圧

15.0 MPa (約 150 bar; 2176 p.s.i.)

刷毛/ローラー塗装

- 刷毛: ストライプコート及び部分的な補修のみ

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

0 - 5%

洗浄用シンナー

THINNER 90-53

PHENGUARD™ 930

フェンガード 930

追加データ

塗布量及び膜厚	
DFT	理論塗布量
100 µm (4.0 mils)	6.6 m ² /l (265 ft ² /US gal)
125 µm (5.0 mils)	5.3 m ² /l (212 ft ² /US gal)

注意点: 刷毛塗り最大膜厚: 60 µm (2.4 mils)

DFT 100 µm (4.0 mils) までの塗装インターバル						
重ね塗り塗料	インターバル	10°C (50°F)	15°C (59°F)	20°C (68°F)	30°C (86°F)	40°C (104°F)
同塗料及び PHENGUARD 935	最短	60 時間	48 時間	36 時間	24 時間	16 時間
	最長	28 日	25 日	21 日	14 日	7 日

注意点: 被塗面は乾燥し異物等の付着がなく清浄であること。

DFT 150 µm (6.0 mils) までの硬化時間	
被塗面温度	注釈 4, 7, 8, 11 に該当しない貨物と バラスト水の積載前及び海水で タンクテストを行う場合の 最短硬化時間
10°C (50°F)	14 日
15°C (59°F)	14 日
20°C (68°F)	10 日
30°C (86°F)	7 日
40°C (104°F)	5 日

注意点:

- 注釈4、7、8、11に該当するフェンガードタンク塗装システムの貨物積載前最短硬化時間: 3ヶ月
- 耐性及び耐性注釈の詳細情報については最新のカーゴレジスタンスリスト (TRIS) を参照
- メタノール及びビニルアセテートモノマーの輸送にはホットカーゴキュアが必要であり、それはノンアグレッシブカーゴを3ヶ月積載することでは代替できない
- 塗装中及び硬化中は充分換気すること。(INFORMATION SHEET 1433 及び 1434 参照)
- 塗装システムの性能は重ね塗りする際に最初に塗装する塗膜の硬化度合に大きく左右される。そのため、1層目と2層目の塗装インターバルは2層目と3層目のインターバルより長くなる(塗装インターバルの詳細参照)
- 無溶剤タンクライニングのプライマー (下塗り) として使用する場合、乾燥膜厚は 100 µm (4.0 mils) 以下にすること

可使時間 (塗装可能粘度)	
混合塗料温度	可使時間
10°C (50°F)	6 時間
20°C (68°F)	4 時間
30°C (86°F)	1.5 時間

PHENGUARD™ 930

フェンガード 930

安全予防策

- 塗料と推奨シンナーについてはINFORMATION SHEET の1430, 1431 及び製品安全データシート(SDS) を参照。
- 本製品は溶剤型塗料のため、スプレーミストや蒸気の吸引、塗料の皮膚、眼への接触に注意すること。

ワールドワイド対応

PPG Protective and Marine Coatings (PPGプロテクティブ&マリン コーティングス) は、常に世界中どこでも同じ製品を供給することを目標としています。しかしながら、地域や国内の法規/状況を順守するにあたって、製品の微調整が必要となる場合があります。その場合は、代替の製品データシートが使用されます。

参照

換算表	INFORMATION SHEET	1410
プロダクトデータシートの説明	INFORMATION SHEET	1411
安全対応	INFORMATION SHEET	1430
閉鎖環境での安全と健康安全、爆発危険性 - 毒性	INFORMATION SHEET	1431
閉鎖環境での安全作業	INFORMATION SHEET	1433
換気方法	INFORMATION SHEET	1434
鋼板の洗浄と除錆	INFORMATION SHEET	1490
鉋物性研磨材の仕様	INFORMATION SHEET	1491
相対湿度 - 被塗面温度 - 環境温度	INFORMATION SHEET	1650

保証

PPGは、(i) 製品の所有権、(ii) 製品の品質が、製造時点において PPGが定める製品仕様に準拠していること、ならびに (iii) 製品は第三者のいずれの米国特許権も侵害していないことを保証します。これはPPGによる唯一の保証であり、商品性、特定用途および目的への適合性、非侵害性、権原、または制定法あるいはそれ以外の法律、もしくは取引の過程、履行の過程、慣習法、または取引慣行により生じる保証をはじめとして、明示または黙示を問わず、あらゆる種類の保証も行わず、または明示的に責任を排除します。本保証に基づかない請求も、購買者が当該欠陥や不具合を発見してから5日以内にPPGに対して書面で行うものとし、また製品に適用される保管期間、あるいは購買者または購買者が指定する配達先に商品が届けられた日から起算して1年のいずれか早い方が過ぎていることを前提とします。購買者が本規定に適合しないことをPPGに通知しなかった場合、購買者は本保証に基づく担保責任の追及をすることはできません。

賠償責任の制限

PPGは、いかなる場合も、製品の使用に関連または起因する、あるいは結果としての間接的、特別的、付随的、派生的な(過失、厳格責任、不法行為のいずれを原則とするかに関係なく)損害回復の理論に基づく一切の責任を負わないものとします。本書の情報はガイダンスのみを目的に作られたものであり、PPGが信頼に値すると考える臨床実験を基にしたものです。PPGは、実地経験および継続的な製品開発の結果として、いつでも本書記載の情報を修正することができます。PPG製品の使用に関連する推奨や示唆は、それらが技術文書内で用いられているかどうか、あるいは特定の問い合わせに対する回答に関わらず、PPGが知り得る限りにおいて信頼できるデータに基づくものとします。製品および関連する情報は、当該産業における必須知識および技能を有するユーザーを対象としており、製品が個々の特定利用に適しているかどうかの判断は、ユーザーの単独責任であり、購買者は独自の裁量権とリスク引受において行うものと見なされます。PPGは、品質の品質または状態、あるいは製品の使用や用途に影響を及ぼしうる数多くの要素については管轄外であり、(契約書に明記されている場合を除き)本情報の使用や内容に起因する損失、被害、損害の責任を一切負わないものとします。適用する環境の変化、使用手順の変更、データの補完に伴い、不十分な結果がもたらされる場合がありますが、本書は先行するあらゆるバージョンに優先し、製品の使用に先立って、本情報が現行のものであるかの確認は購買者の責任とします。すべての PPG Protective & Marine Coatings Products (PPGプロテクティブ&マリン コーティングス製品) の最新データシートは、www.ppgmc.comにて閲覧可能です。また本書の英語版は他の翻訳版に優先するものとします。

